

平成 22 年度 第 5 回市長タウンミーティング議事録

と き：平成 22 年 4 月 18 日(日)
午後 2 時～3 時 30 分
ところ：北町公民館
参加者：79 人

○市長あいさつ

(市長より、平成 22 年度の施策・予算についての説明が行われました。)

○意見交換

質問 (男性)

前市政の負の遺産があるなか、健全化の努力をしていることはよく理解しています。その上で、今後の更なる財政健全化に向けた取り組みの一環として、他市(名古屋市)が行っている議会改革である「市議員定数削減」「歳費削減」「県外研修費の廃止」などを市長も検討してみたいかかでしょうか。

回答 (市長)

市議会は、行政をチェックし、市民の皆さんのさまざまな声を市政に反映させるなどたいせつな機関だと考えています。「定数」「歳費」「研修費」のあり方については、市民の皆さんが納得できる内容、水準であることがたいせつです。市長が市議会との十分な話し合いなしに一方的に議会に提案しても、議会で可決されなければ、議案は成立しませんので、単なるパフォーマンスだけで終わってしまう恐れもあります。ただ、こういったご意見を議会へしっかりと伝えておくことは、それが結果的に、改善に繋がっていくという点でたいせつです。また、「歳費」に関しては、蕨市議会だけでなく、競艇組合や衛生センターの議員としての「歳費」も支給されており、こちらについては、全国的に高い水準にあるのではないかと思いますので、今後検討すべき課題ではないかと思えます。

質問 (男性)

新年度予算で、市債発行額が前年に比べ、約 1 億 4,000 万円増加しているが、条例で定めるなどして、これ以上借金が増えないようにお考えいただけないでしょうか。

回答 (市長)

市の借金総額は、この2年間で14億円以上削減してきました。おっしゃるとおり、平成22年度一般会計での市債発行額は、前年度より約1億4,000万円増加していますが、それ以上に多くの返済をしているため、22年度も借金の総額は、5億円以上削減できる見込みです。今後も借金は減らしていきませんが、市債については、お金が足りないから発行する、というだけでなく、「学校耐震化」や「下水道整備」など、この先、30、40年利用できる施設に関しては、同じくらいの期間で借金を分割で返済し、将来利用する市民にも負担していただく、という意味もあります。

質問（男性）

蕨市の危機管理状況はいかがなものですか。

回答（市長）

蕨市の危機管理対策として、「危機管理監」を置き、市民生活部長が担当しています。危機管理については、いろいろな課題が想定できますが、昨年、流行した新型インフルエンザについては、市長を本部長とする新型インフルエンザ危機対策本部を設置し、対応いたしました。他の災害時も同様の対応となります。

質問（男性）

蕨市だけでなく、日本全体が財政的な危機に瀕しているなか、行政に様々なことを望むのはいかがなものかと思いますが、その件についていかがお考えでしょうか。

回答（市長）

財政的に厳しい状況のなか、まちづくりは、すべて行政が行うのではなく、市民の皆さんと一っしょに進めていくことが重要だと思います。

質問（男性）

愛知県名古屋市で住民税10%減税が議会で決まりましたが、蕨市ではいかがですか。

回答（市長）

制度的には、条例により、市民税を減税することも可能ですが、全国的に見ても減税している自治体はほとんどありません。名古屋市の住民税10%減税については、先日、市議会で1年限りとの修正がなされたと報道されていました。蕨市の現状の財政状況では、減税は難しく、市民の皆さんの様々な願いに応えながら、市の借金を減らしていくことがたいせつであると考えています。今後も財政バランスを見ながら、様々な施策に取り組んでいきたいと思っています。

質問（男性）

鹿児島県阿久根市長の行動についていかがお考えでしょうか。

回答（市長）

マスコミを通じた報道でしか情報を得ていないので、詳細はわかりません。いずれにしても、議会も含めて、市民の皆さんに理解してもらうことが重要だと思います。

質問（女性）

ごみ集積場についてですが、近年、掃除をする人が少なくなっています。分別をしないで出してくるごみが多いため、掃除をする人は、臭いなどで嫌な思いをしながら、分別しています。また、不法投棄も多くあり、併せて、どうにかしてほしいと思います。

回答（市長）

ごみの問題については、日ごろ、皆さんにご苦労いただき、非常に感謝しています。市としては、まず、具体的状況を把握しなければいけないと思いますので、担当部署の生活環境係が現状確認をする必要があると思います。

不法投棄は、駅までの通り道に行われるケースが多く、投棄者のモラルに関わる部分が大きいため、市としては、看板を立てるなどの対策を取っています。

また、集積場については、市が決めているのではなく、各地域（コミュニティ）で決めていることです。ごみを集めることは、市が責任を持って行いますので、集積場は、町会などで話し合いを重ねて、うまく運用できるようお願いしたいと思います。

質問（女性）

北町公民館・市民体育館をよく利用していますが、トイレに関して、2点ございます。障害者用トイレの水洗が壊れているので、修理をお願いしたいです。もう1点は、洋式トイレが少なく、高齢者にとって、たいへんなので、改修工事をお願いしたいと思います。

回答（市長）

障害者用トイレの故障に関しては、早速、修理いたします。また、洋式トイレへの改修については、他施設も含めて、要望が出ていますが、予算的にすべてのトイレを変更ができなくて、申し訳ないと思っています。全体の予算を見ながら、今後、進めていきたいと思っています。

追記：障害者用トイレにつきましては、平成22年3月に修理を終えています。

質問（男性）

新年度予算を見て、生活保護費が約 21 億円と突出した金額になっていますが、蕨市は生活保護者に対して甘いという声を聞きますが、財政的に借金が増えているなか、市としての生活保護制度の施策はどうでしょうか。

回答（市長）

リーマンショック以降の不況や、派遣切りなど雇用の不安定化等の影響で、全国的に生活保護受給者は急増しており、蕨市においても、平成 16 年と比較して、約 1.5 倍の増加(世帯数での比較)となっています。他市においても同様で、さいたま市は約 1.7 倍になるなど、蕨市以上の伸び率の自治体もたくさんあります。

生活保護は、国の制度で、憲法 25 条の生存権を守るセーフティネットといわれており、たいせつな制度です。従って、その費用はすべて国が負担する仕組みになっており、3/4 は国庫負担金、1/4 は地方交付税で賄っています。市町村は実際の事務を行っていますので、法律に基づいた運用が重要であり、蕨市でも法律に基づいてきちんと運用しています。なお、蕨市では職員の数は減らしていますが、受給が増えるなか、就労支援も含めて、よりきめ細かく対応できるよう新年度よりケースワーカーを増員しています。

質問（女性）

まず、市長さんにエレベーターの件でお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。たいへん便利で、利用させていただいています。2 点ほどありますが、まず 1 点は、この市民体育館は私たちの避難場所になっていますが耐震化はどうなっていますか。次に、先日、北町公民館の講座「いきいき学級」でバスによる移動学級の募集がありました。定員 35 名のところ、46 名の人が集まりました。抽選になるかもしれないと聞いていますが、できれば、もう少し大きなバスを用意してもらいたいのと、年 1 回を 2 回に増やしてほしいです。

回答（市長）

1 点目の市民体育館の耐震化についてですが、昭和 56 年から現行の耐震基準となっており、体育館が建てられたのは、昭和 55 年ですので、古い耐震基準で建てられています。今後、耐震診断を行い、その結果によっては耐震改修が必要になります。ただし、ほかにもそうした公共施設はたくさんあり、現在は学校の耐震化を優先して行っているところです。市民体育館についてはその後の課題となりますが、必要性は十分認識しています。なお、学校関連の耐震化工事は、国から 1/2 ないし 2/3 の補助がありますが、公共施設の耐震化に対する補助は不十分なので、その点も国に改善してほしいと思っています。

2点目の「いきいき学級」は、定員以上に応募があったということはそれだけ評価していただいているということでもあり、たいへんうれしく思っています。いただいたご意見については、しっかりと担当部署に伝えておきます。ただ、市のバスは年間で予定を組んでいますので、急遽予定を変更することが難しい可能性がありますので、ご了承ください。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。